



ぞうぐみだより

2022年度 6月号

尚徳福祉会生麦保育園



日に日に暑くなり、日差しが出ていなくても湿度が高いからか汗をかいている子どもたち。気温に合わせて「半袖にしようかな」「長袖でもいいかな」と悩む姿が微笑ましいです。梅雨になると戸外で遊ぶことができない日が続くこともあると思いますが、室内でも体を動かし元気に過ごしていきたいと思います。



葉っぱの下には・・・？

そう組の子どもたちのブームはだんごむし探し。中でもお気に入りのスポットは砂場の奥の葉っぱの茂みのようで、「こっちにいるよ」「いたいた！」とみんなで探しています。はじめは、だんごむしを転がしたり、バケツの中に入れてままだにしたりすることもありましたが、今はゆっくりと丁寧に触れようとしています。また、観察した後は「またあそぼうね」「あしたもあおうね」と元のいた場所に戻している子どもたちの姿を見て温かい気持ちになりました。これからも生き物に対する優しい気持ちを大切にしていってほしいです。

サツマイモの苗を植えました

今年度のそう組は、サツマイモ、きゅうり、オクラの3種類の野菜を栽培することになりました。連休前の畑の雑草抜きでは、土の中から普段あまり見ない虫が出てくると大騒ぎ。「虫が怖いからできないよ～」「びっくりした！」と賑やかでした。苗植えでは、畑の畝を見ると「すごい」「山みたい」と驚いている様子。保育者が支柱で畝に穴をあけ、その中に一人ずつ苗を植えました。苗植えが楽しくて夢中で植える子や、畑の隅にいるミミズや幼虫探しをしている子など様々でしたが、最後は一人ずつ順番にじょうろで水をあげました。苗植えが終わると「もう食べていいの？」と一言。毎日お世話して、秋になったら食べられることを伝えると「早く秋にならないかな」と今から待ち遠しい様子でした。

どうしたらいいかな？

折り紙が大好きなそう組の子どもたちですが、最近はぐちゃぐちゃになったままケースに入っていたり、誰の物か分からず床に落ちていたり…という場面が多く見られていたので、子どもたちにどうすれば良いか聞いてみると「裏に名前をかけばいいんじゃない？」と提案が。「名前書けない人もいるよ」「じゃあ、ひらがな書けるひとが書いてあげたら？」「先生に書いてもらうとか」など、子ども達が中心になり折り紙の使い方や、大事に使う方法を決めていました。そう組の保育室内だけでなく、トイレのスリッパを綺麗に並べてくれる子や、砂場のシートを毎回掛けてくれる子など色々な姿を見て、成長を感じています。



お願い・お知らせ

- ・5月21日（土）の懇談会に参加して下さった保護者のみなさま、お忙しい中参加して下さりありがとうございました。
- ・お家や保育園で37.5℃以上の発熱の際は翌日までご家庭で様子を見ていただいたからの登園をお願いします。
- ・連絡ノートに登園時の保護者の方の体温の記入をお願いいたします。